

10月1日(水)12:00 情報解禁

公演情報公開&出演者募集！

水戸芸術館プロデュース公演 音楽劇『夜のピクニック』

水戸市民会館グロービスホール(大ホール)にて、
再々演決定、追加出演者募集！



【原作】恩田陸「夜のピクニック」(新潮文庫刊)

【脚本】高橋知伽江【演出】深作健太【作曲・音楽監督】扇谷研人

【出演】吉川友、加藤良輔、安達勇人、三森千愛
剣幸(特別出演) 他

【日程】2026年10月30日(金)～11月1日(日)

【会場】水戸市民会館グロービスホール(大ホール)

【取材・公演情報掲載に関するお問合せ】

水戸芸術館 本橋 歩(広報担当)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 演劇部門直通 TEL:029-227-8123 FAX:029-227-8130

<https://www.arttowermito.or.jp/>

MAIL: m-ayumi@arttowermito.or.jp

2026 年の秋、水戸芸術館プロデュースによる音楽劇『夜のピクニック』を、 水戸市民会館グロービスホール(大ホール)にて上演します

概要

一昼夜をかけて約70キロを歩く水戸第一高等学校の「歩く会」をモチーフに、同校卒業生の作家恩田陸氏が書いた小説「夜のピクニック」(新潮文庫刊)は、青春群像劇の新たなスタンダードとして多くの読者を獲得しています。水戸芸術館では、2016 年、脚本を高橋知伽江、演出に深作健太、作曲・音楽監督として扇谷研人を迎え、この小説の初の舞台化を図り、音楽劇として上演しました。

初演では、開館以来、最高の舞台作品の観客数を獲得、2020 年の再演時には、コロナ禍の上演にも関わらず、全日程完売となっています。常に再演の要望があり、水戸芸術館の演劇部門を代表するレパートリー作品と言えます。

2026 年の秋、水戸市民会館、水戸京成百貨店と連携し、中心市街地を活性化する MitoriO エリアにおいて、水戸市民会館グロービスホール(大ホール)を上演会場に、装いも新たに音楽劇『夜のピクニック』を上演いたします。

「みんなと夜歩く それだけで どうしてこんなに 特別なんだろう」のキャッチフレーズをもとに、茨城に縁ある吉川友、加藤良輔、安達勇人、三森千愛(水戸一高卒業生)をメイン・キャストで、特別出演の剣幸、水戸芸術館専属劇団ACMのメンバー、オーディションによって選ばれるフレッシュな俳優陣と共に、新たに伝説の舞台を目指します。

音楽劇『夜のピクニック』 あらすじ

水戸一高では毎年、一昼夜かけて全校生徒が約 70 キロを歩く「歩く会」が行われている。

3 年生の甲田貴子はこのイベントの間に、あることを決行しようとしていた。

一方、クラスメイトの西脇 融は、ある事情から一日も早く卒業したいと願いながら黙々と歩いていた。

長い行列となって歩く生徒たちの間には、恋の噂やお化けの目撃情報といった様々な話題が駆け巡る。

やがて日が暮れた頃、一年前にアメリカに引っ越した貴子の親友・榊杏奈が貴子と融のためにかけた「おまじない」が動き出す。

貴子の決意の行方は？ 杏奈の「おまじない」の結末とは？

音楽劇『夜のピクニック』上演記録

【初演】

未来サポートプロジェクト Vol.8 音楽劇『夜のピクニック』

日程：2016 年 9 月 17 日(土)～25 日(日) 会場：水戸芸術館 ACM 劇場

【再演】

水戸芸術館開館 30 周年記念事業 第 2 弾 音楽劇『夜のピクニック』

日程：2020 年 10 月 1 日(木)～4 日(日) 会場：水戸芸術館 ACM 劇場

プロフィール



【脚本】高橋知伽江（たかはし ちかえ）

東京外国語大学ロシア語学科卒業。劇団四季を経て、1997 年よりフリーランスで活動。2013 年 4 月～2017 年3月、水戸芸術館演劇部門芸術監督。2024 年 10 月～水戸芸術館演劇部門アドバイザー。2025 年 4 月～公益財団法人水戸市芸術振興財団理事。2011 年第 4 回小田島雄志・翻訳戯曲賞、2016 年第 23 回読売演劇大賞優秀スタッフ賞受賞。オリジナルミュージカル創作に力を入れており、代表作は『手紙』『生きる』『ゴースト & レディ』、26 年1月に『ISSA IN PARIS』開幕を控えている。



【演出】深作健太（ふかさく けんた）

1972 年、東京都出身。2003 年、撮影中に逝去した父・深作欣二の跡を継ぎ監督デビュー。以降、映画、演劇、オペラなど多彩なジャンルを演出している。代表作に水戸芸術館の音楽劇『夜のピクニック』（2016 年）。2021 年より深作組を始動。2025 年は、9月にはオペラ『さまよえるオランダ人』、11 月に明治座『酔いどれ天使』、12 月に堀井美香との朗読公演がひかえている。



【作曲・音楽監督】扇谷研人（おおぎや けんと）

ソロアーティストとしての活動から、辛島美登里・城南海・小柳ゆき・坂本真綾・薬師丸ひろ子等多数のアーティストのサポート、そして舞台音楽の作編曲まで多岐に活躍。2024 年 3rd ソロアルバム "still on the journey" をリリース。2003～2007 年オルケスタ・デ・ラ・ルスに在籍して国内外で活動。主な舞台音楽作品に『音楽劇 夜のピクニック』『リトル・ヴォイス』『ねこはしる』『ミュージカル SUNNY』等。

【出演】



吉川 友（きっかわ ゆう）

ハロー!プロジェクトの研修過程を経て、2011 年「きっかけは YOU!」でソロデビュー。抜群の歌唱力とユーモア溢れる巧みなトーク、自慢の「ワガママボディ」でどんな会場も自分色に染め上げ、海外イベントにも積極的に参加(過去 7 カ国 17 度)。茨城県常陸太田市のアンバサダーにも就任。2021 年でデビュー 10 周年を迎える。



加藤良輔（かとう りょうすけ）

1984 年 3 月 21 日生まれ。茨城県出身。

歌やダンスなどのパフォーマンス力を活かしながら、数多くの舞台に出演。主な出演作に、ミュージカル『手紙』、THE CONVOY SHOW、『ヒプノシスマイク-Division Rap Battle-』Rule the Stage、舞台『刀剣乱舞』十口伝 あまねく刻の遙かへ などがある。また、アーティストとして楽曲をリリースするなど幅広く活動している。



安達勇人 (あだち ゆうと)

声優・俳優・アーティスト・いばらき大使。

ミュージカル忍たま乱太郎(善法寺伊作役)、王室教師ハイネ(ブルーノ役)をはじめ様々な TV アニメ、ミュージカル、舞台で活躍。さらに自身のアーティスト活動として 2023 年桜川市のアリーナで開催された安達勇人アリーナワンマンライブでは 2000 人を動員。

2025 年笠間芸術の森公園野外音楽堂にて開催された安達勇人ワンマンライブ～THIS IS YUTO～茨城野音では 3000 人を動員。さらに 2024 年からスタートした本人が

実行委員長を務める茨城県最大規模のまちおこしフェス「IBARAKI DREAM LAND」では毎年二日間で 2 万人以上を動員。茨城県を本気で盛り上げるため、自身の夢を叶えながら様々な活動をしている。



三森千愛 (みつもと ちあき)

水戸一高卒業後、日本大学芸術学部に入學。劇団四季入団。退団後は新演出版『レ・ミゼラブル』にファクトリーガール役、新演出版『ミス・サイゴン』にエレン役で出演。また、『メリー・ポピンズ』日本初演に、ウィニフレッド・バンクス役で出演。他に『Violet』主演ヴァイオレット役『bare』ナディア役『プリシラ』マリオン役『ひめゆり』上原婦長役『大金星』チェリー役『ライオンキング』等に出演。ネパールにて日本大使館後援チャリティコンサート出演。子供向け YouTube チャンネル『ぽよんちゃんねる』運営・出演。俳優の他にフォトグラファー、カウンセラーとしても活動中。

【特別出演】



剣幸 (つるぎ みゆき)

富山県出身。1980 年代に宝塚歌劇団月組の男役トップスターとして活躍。代表作となったブロードウェイミュージカル「ME AND MY GIRL」は宝塚史上初の 1 年間の続演となる。退団後も舞台を中心に活躍、コンサートのセルフプロデュース、TV 番組司会、ラジオパーソナリティ、ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」吹替等、活動の幅を拡げている。菊田一夫演劇賞、読売演劇大賞優秀女優賞受賞。北日本新聞文化功労者、「宝塚歌劇の殿堂」顕彰者。

公演概要

水戸芸術館プロデュース 音楽劇『夜のピクニック』

【原作】恩田陸「夜のピクニック」(新潮文庫刊)

【脚本】高橋知伽江 【演出】深作健太 【作曲・音楽監督】扇谷研人

【公演期間】2026 年 10 月 30 日(金)～11 月1日(日)

【公演会場】水戸市民会館グロービスホール(大ホール)

【主催】公益財団法人水戸市芸術振興財団

【企画制作】水戸芸術館 ACM 劇場

ぜひご紹介をいただきたく、何卒よろしく願い申し上げます。

【取材・公演情報掲載に関するお問合せ】

水戸芸術館 本橋 歩(広報担当)

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町 1-6-8 演劇部門直通 TEL:029-227-8123 FAX:029-227-8130

<https://www.arttowermito.or.jp/> MAIL: m-ayumi@arttowermito.or.jp